

科目名	翻訳論特講	担当者	アキクサ 秋草 シュンイチロウ 俊 一郎	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>文芸翻訳実践演習。現代アメリカの作家のごく短い短編を、前期と後期で一編ずつ訳していく。邦訳のない作品を選ぶので、ある程度の覚悟をもって臨んでほしい。文学研究プロパー以外の受講を歓迎するが、扱う作家のほかの邦訳済みの作品を自分で読んでみるなど、文体について研究してみる。あたりまえだが、たんなる英文和訳ではなく、「小説」として読むにたえるレベルのものを目標してほしい。</p> <p>以上を達成することにより、外国語の運用能力、辞書や事典などを活用した調査力、論理的・批判的思考能力をはじめ、高度な文章力、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、省察力を身につけることを目指す。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 英文和訳と文芸翻訳の違いを理解する。現代アメリカの小説に親しむ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 作家特有の文体を認識し、日本語に置きかえることができるようになること。適切な辞書・事典など資料を活用できるようになること。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 インタラクティブなレポート提出システム manaba を用いる。学習者の数によってはピアレビューを用いる。</p> <p>【学修方略 (LS)】 自主研究。教材および関係資料を精読のうえで課題にとりくむ。レポート作成にあたっては、草稿から最終稿に至るまで、履修者と教員のあいだでやりとりをしながら段階的にすすめる。</p> <p>【学修時間】 各レポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：15 時間      レポート執筆：15 時間 レポート推敲 (教員の添削指導を含む)・最終稿の完成：15 時間</p>		
スケジュール	<p>前期：6 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(1)初稿を提出。 7 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(1)最終稿を提出。 8 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(2)初稿を提出。 前期提出期限までに教材 1 のレポート課題(2)最終稿を提出。</p> <p>後期：10 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(1)初稿を提出。 11 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(1)最終稿を提出。 12 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(2)初稿を提出。 後期提出期限までに教材 2 のレポート課題(2)最終稿を提出。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80 %	教材を精読理解し、課題に応える内容となっているか、また、文芸翻訳として通用するか評価する。
	観察記録	20 %	メール、manaba、ゼミ等を活用して積極的に課題に取り組んだかを評価する。
履修者への要望	<p>レポート作成は修士論文執筆のための重要な準備である。教材を熟読し、可能な範囲で関係資料を参考にして課題にとりくむこと。manaba のコミュニティや掲示板でのディスカッションなど、積極的な参加を求める。例年、課題 2 に対していい加減な態度で接する学生が多い。辞書を引いていない、推敲不足と判断した場合、学生の怠慢と見なし、履修中止を求めることもある。受講者の要望によっては追加の課題を課すこともある。その場合、教材については相談にのるが、外国語書籍の入手方など、今のうちに習熟してほしい。「文芸」翻訳の授業であるので、課題の作品に興味がなく、英語学習だけを目的とした学生にはすすめられない (単位取得できない可能性が高い)。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 著者名：Charles Bukowski 教材名： 教材名：Betting on the Muse: Poems & Stories ISBN: 978-1574230024
	著者チャールズ・ブコウスキー（1920—1994）はカリフォルニアを中心に活動した詩人・作家。酒と女を好み、学校システムからドロップアウトしてその日暮らしの生活をおくった自分の実人生を題材にした作品をおおく書いた。
参考図書	チャールズ・ブコウスキー『くそつたれ! 少年時代』（河出文庫） チャールズ・ブコウスキー『町でいちばんの美女』（新潮社）
履修上のポイント	教材は amazon.co.jp などで購入できる（kindle 版でももちろん可）。ブコウスキーの一見荒っぽいのが、繊細な言葉遣いを、それなりの雰囲気ですすめのために、上記にあげた既訳を大いに参考にしたい。最終稿の二週間前にドラフトを manaba に提出し、受講生同士でピアレビューののち、最終稿を提出すること（ただし、受講者の人数によっては教員がドラフトも添削する）。
レポート課題 1	短編“My Madness”の前半（p. 334 から p. 335 の上から四行目）までを訳しなさい。また、基本教材 1 から別の作品をひとつ選んで、感想を書きなさい（800 字以上）。 <b>留意点：</b> 翻訳は小説として読めるように訳しなさい。
レポート課題 2	短編“My Madness”の後半（p. 335 の上から五行目から p. 336）までを訳しなさい。また、基本教材 1 からさらに別の作品をひとつ選んで、感想を書きなさい（800 字以上）。 <b>留意点：</b> 翻訳は小説として読めるように訳しなさい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 著者名：Aleksandar Hemon 教材名： 教材名：Door to Door, New Yorker October 8 2001
	著者アレクサンドル・ヘモン（1964—）はサラエヴォ出身の作家。1992 年のシカゴ滞在中にボスニア紛争が勃発し、アメリカに移住し、英語作家として作品を発表するようになる。
参考図書	アレクサンダル・ヘモン『ノーホエア・マン』（白水社） アレクサンダル・ヘモン『私の人生の本（仮）』（松籟社、2021 年刊行予定）
履修上のポイント	教材は前期が終わった時点で入手法を指示する。ヘモンは英語の母語話者ではなく、ブコウスキーにくらべて癖はないが、正確に訳すためにはボスニア紛争についての背景知識も必要。最終稿の二週間前にドラフトを manaba に提出し、受講生同士でピアレビューののち、最終稿を提出すること（ただし、受講者の人数によっては教員がドラフトも添削する）。
レポート課題 1	短編“Door to Door”の前半を訳しなさい。また、基本教材 2 から別の作品をひとつ選んで、感想を書きなさい（800 字以上）。 <b>留意点：</b> 翻訳は小説として読めるように訳しなさい。
レポート課題 2	短編“Door to Door”の後半を訳しなさい。また、基本教材 2 からさらに別の作品をひとつ選んで、感想を書きなさい（800 字以上）。 <b>留意点：</b> 翻訳は小説として読めるように訳しなさい。

**基本教材 1**

第 1 回	教材の学修：基本教材 1 の読解
第 2 回	教材の学修：基本教材 1 の読解
第 3 回	教材の学修：基本教材 1 の読解
第 4 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 5 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 6 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス
第 7 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 8 回	教材の学修：基本教材 1 の読解
第 9 回	教材の学修：基本教材 1 の読解
第 10 回	教材の学修：基本教材 1 の読解
第 11 回	教材の学修：基本教材 1 の読解
第 12 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 13 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成

**基本教材 2**

第 1 回	教材の学修：基本教材 2 の読解
第 2 回	教材の学修：基本教材 2 の読解
第 3 回	教材の学修：基本教材 2 の読解
第 4 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 5 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 6 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス
第 7 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 8 回	教材の学修：基本教材 2 の読解
第 9 回	教材の学修：基本教材 2 の読解
第 10 回	教材の学修：基本教材 2 の読解
第 11 回	教材の学修：基本教材 2 の読解
第 12 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 13 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成